

藍野大学短期大学の活動状態（レベル） 【2022/1/13現在】

短期大学部のある時点での感染対策の基本方針を明確にし、具体的対策の指針となるように、活動状態を以下の3 + 1の状態に分類する

この基本方針のもとで、感染リスクを最小化かつ教育・研究活動の成果を最大化するように、創意工夫を凝らした対策を行う。

状態	状態の基本的考え方			各状態における対策の基本方針 具体的な対策方法は設置校ごとに設定可能							
	概要	地域の感染状況	継続可能期間	基本的感染対策	入校時の 体温測定	校内施設 の消毒	人の集まり 会議、面談等	講義 座学／学内演習	実習 実習受け入れ施設の 意向を尊重すること	教職員の活動 学内、学外	講義以外の学 生の入校や課 外活動
		大阪府などの発表 による	最長の期間を想定 しておく								
Status 1	「新しい生活様式」に対応した 持続可能な「新しい教育スタイル、学校生活」	市中感染がほと んどない	長期間可能		不要	不要	対面可能	可能	可能	通常	可能
Status 2	学校活動に重点を置くが感染防止にも注意を払 う。 そのためある程度の制限を行う。	市中感染拡大の 恐れ	月～学期～年度	・対面時のマス ク着用 ・換気 ・避密	可能な限 り行う	必要に応 じて施行	対面可能だが リモート推奨	対面を主とす るがリモート を検討	実習施設が受入可 能であるならば実 施		
Status 3	感染防止に重点を置いたうえで、学校の活動を 可能な限り維持する。 そのためかなりの程度の制限が発生する。	市中感染拡大中	月～学期	・健康自己管理 (体温測定、体 調不良時に休む など)	必要	使用箇所 の定期的 消毒	原則リモート	リモートを主 とするが対面 も可	学内実習への振替を 考慮するが、実習施 設が受入可能である ならば実施	リモートを考 慮	原則禁止
state of emergency	緊急事態であり、休校や入校禁止が考慮される 状態であり、主に設置校ごとの設定となる。 学内でクラスターが発生した場合もこの状態と なる。	緊急（非常）事 態宣言発令	日～週単位			状況によ り実施	原則リモート	原則リモート	原則リモート	原則リモート	禁止